

郷音

山形県立産業技術短期大学校庄内校

【きょうおん】
ふるさとの言葉づかい
国なまりという意。



SHONAI COLLEGE OF INDUSTRY & TECHNOLOGY

【教育振興会会報】 令和元年6月30日発行

第32号

各種技能競技大会で活躍しました！！



「第56回技能五輪全国大会」



「第17回東北ポリテックビジョン電子情報系ものづくり競技会」



「第13回若年者ものづくり競技大会」



昨年度開催された各種技能競技大会に電子情報科の学生が出席し、「IT ネットワークシステム管理」職種では2年ぶりに「第56回技能五輪全国大会」への出場権を獲得し、「第13回若年者ものづくり競技大会」では、「業務用ITソフトウェア・ソリューションズ」、「電子回路組立て」職種で敢闘賞を受賞し、3年連続の入賞となりました。また、「第17回東北ポリテックビジョン電子情報系ものづくり競技会」では、山形県で初となる「優勝」に輝きました。

目次

各種技能競技大会で活躍しました・・・・・・・・・・①	平成31年度入学者数・・・・・・・・・・⑦
ごあいさつ、夢と希望に燃える平成31年度入学生・・②	卒業研究発表会テーマ一覧・・・・・・・・⑧～⑨
新時代「令和」の幕開けを迎えて・・・・・・・・・・③	平成30年度進路状況・・・・・・・・・・⑩
会員企業のご紹介・・・・・・・・・・④	就職先企業のご紹介、受賞に輝く卒業生・・・・⑩
各学科の教育活動・PR・・・・・・・・・・⑤～⑥	令和2年度学生募集・・・・・・・・・・⑪
企業実習（体験記）・・・・・・・・・・⑥～⑦	新任職員紹介・・・・・・・・・・⑫



ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校
教育振興会 会長 弦 巻 伸

山形県立産業技術短期大学校庄内校は、技術の進展が著しい現代社会に対応できる人材を庄内で育成してほしいという、私たち庄内の産業界の要請に応じて開校され、以来、当地域の即戦力となる優秀な人材を多数輩出していただいております。

皆様には、学生の企業実習や校外学習などの実践的な職業能力開発へのご支援を賜るとともに卒業生の採用についてもご尽力をいただき、感謝申し上げます。

全国的に技能者の人材不足が深刻化しており、当地域においても優れた技術と幅広い知識を身に着けた担い手の確保が課題となっております。平成26年度以降、毎年、学生が技能五輪全国大会や若年者ものづくり競技大会などの全国的な競技会に出場しております。当教育振興会といたしましては、学生が地元企業に定着するよう働きかけていくとともに庄内校の活動を支援し、地域産業の振興に寄与して参りたいと思っております。

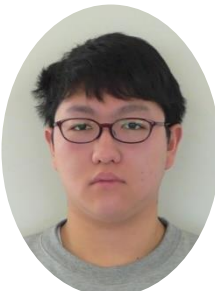
皆様には、今後とも庄内校への温かいご協力をお願いいたしますとともに、会員企業の益々のご繁栄を祈念いたします。

夢と希望に燃える平成31年度入学生



制御機械科 佐久間 圭斗

私は将来、機械加工の技術者になりたいと考えています。きっかけは以前テレビで見たドキュメンタリー番組です。これで機械加工現場に興味を持ち、設計図に基づいて材料を加工するという作業の繊細さに感心しました。制御機械科には1年次から企業実習があり、将来社会人として必要な経験をつむことができると思い進学しました。これからの気持ちを忘れずに社会人としても成長できるように努力していきたいと思っております。



電子情報科 菅原 大河

私の入学にあたっての目標は、技能競技大会出場と日々の勉強を両立して取り組んでいくことです。真っ先に競技大会出場を目標としたのは、自分が書いたプログラムが思った通りに動いた時に感動を覚え、プログラムを志すようになり、競技大会を通してプログラミング技術を高め、企業に貢献できる人材になりたいと考えたからです。大会出場には、日々の授業を通じた学習も大事です。物事を両立して取り組むことは重要ですが難しさもあります。そのため、一つの事を集中して取り組み、もう一方に取り組む際にはしっかりと切り替えて行っていきたいと思っております。2年間、目標達成に向かって頑張ります。



国際経営科 大佐賀 渉

私はオープンキャンパスで初めて簿記に出会い、この知識を自分のものにして仕事で活かしたいと思い当校に入学しました。普通科出身なので初めて商業科目を学ぶことになりましたが、当校の特徴である少人数教育のおかげで授業の内容をよく理解することができ、必要な資格の取得に向けて少しずつですが前進できていると実感しています。

これからの学生生活では、簿記を中心にさまざまな検定を受験して、実務で役立つ知識や技術をより多く身に着けていきたいです。また、卒業後は県内企業に就職し、その企業の発展のために力を尽くしていきたいです。



新時代「令和」の幕開けを迎えて

山形県立産業技術短期大学校庄内校
校長 尾形 健明

教育振興会の会員の皆様には、平成9年の開校以来、本校の学校運営、学生の教育訓練、企業実習や就職などにつきまして、多大なる御支援や御協力をいただいております。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

さて、いよいよ、元号が平成から令和に替わり、新しい時代を迎えたところですが、これまでの歩みを振り返りますと、将に激動の時代であったといえます。

例えば、災害、事件では、平成7年には阪神淡路大震災が、平成13年にはアメリカ同時多発テロ事件がありました。さらに、平成23年には東日本大震災が発生し、平成最後の30年には、猛暑、地震、台風などの自然災害が多発した年でした。また、この間、社会経済状況も大きく変動し、平成7年には、パソコンが一般家庭にも急速に普及し、特に、平成12年以降は、携帯電話を始めとして、インターネット機能が強化され、平成20年以降は、スマートフォンが日常生活には欠かせない存在になるなど、飛躍的な情報技術革新がありました。一方、所得など様々な格差が問題になり、平成20年のリーマンショック後は、世界中が不景気に陥り、バブル崩壊後のような就職氷河期が再来しました。平成27年からは、働き方改革が進められ、労働環境が見直されるようになりました。

これら、激動の平成時代における本校の歩みを改めて振り返りますと、本校は平成9年に全国で初めて経営系学科を導入した県立職業能力開発短期大学校として、制御機械科、電子情報科、国際経営科の3学科で開校しました。開校から15年経過した平成24年に教育内容の見直しを行い、平成26年から各学科で専門性を高めるためのコース制を導入しました。

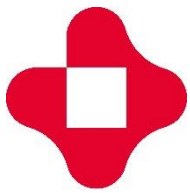
また、山形県立酒田光陵高等学校及び山形県立鶴岡工業高等学校と「相互の教育交流を通じ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、高校教育と短大校教育の活性化を図る」ことを目的として、酒田光陵高等学校とは平成25年に、鶴岡工業高等学校とは平成26年に、それぞれ教育連携協定を締結しました。

これらにより、技能五輪をはじめとした各種大会出場や技能検定合格に向けた練習会、夏休みを利用した本校での基礎知識修得や実習機器を使用した基礎的実習の短期合宿、日商簿記検定の受験対策や総合学習の時間を利用した就職試験の講義・実習を実施しています。

おかげをもちまして、今年の3月までの卒業生は862名となり、就職率は、開校以来、毎年ほぼ100%を達成しております。また、県内就職率は約90%、庄内地域への就職率は約70%となっております。これも、偏に県民、教育振興会を始めとする皆様からの本校に対する大きな期待、御支援に支えられ、実践的で即戦力となる産業人を育成し、輩出することができたのだと感謝するところであります。

この就職状況の良さに比較しまして、学生の受入れに関しては課題があります。全国的に少子化が急激に進行しており、庄内地域の高校卒業者数は開学当時の6割程度まで減少しています。本校もその影響を受けてか、入学生につきましては3学科とも定員に満たない状況にあります。この課題解決には即効的な手法はない訳ですが、昨年度から本校のあり方について検討を進めています。会員の皆様にもご意見をいただきたいと考えておりますので御協力をよろしくお願いいたします。

人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという思いが込められている令和の時代を迎え、今後とも、皆様の御期待に添えるよう、教職員一丸となって本校の更なる発展を目指して参りたいと、決意を新たにしておりますので、これまでと同様に温かい御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



TOSOH

東北東ソー化学株式会社



■ 会社概要

設立 1983年4月1日
資本金 20億円(全額東ソー(株)出資)
代表者 代表取締役社長 廣長 啓
従業員数 142名(2019年4月現在)
本社 酒田市大浜一丁目6番地の14
TEL 0234(33)6111
事業所 能代工場・仙台営業所
URL <http://www.t-tosoh-chem.jp/>



▲本社・酒田工場

■ 同社のご紹介

当社は、東ソーグループの一員として、創業以来、長年培ってきた食塩電解技術を基盤に電気分解から得られる苛性ソーダと塩素を活用した化学工業製品を日本及び海外市場に供給しています。当社の製品は、私たちの生活を支える様々なものに幅広く使用されています。

【主要製品とその用途】

- 苛性ソーダ・・・化学繊維、紙、パルプ、無機化学などの各方面で利用。
- 合成塩酸・・・食品、香料、医薬品、超純水製造分野、各種化学品などの製造に使われる生活に密着した製品。
- 液化塩素・・・酸化、殺菌の性質をいかした、紙・パルプ等の漂白、上水道等の殺菌消毒剤として、また、工業の原料として使用。
- 液体塩化カルシウム・・・降雪地帯における融雪剤や防塵剤のほか、冷媒や排水処理剤など用途も多様。
- ポリ塩化アルミニウム・・・上下水道、産業用などの水処理剤の凝集剤として使用。水温・水質の変動に即応し、作業を簡素化。
- 次亜塩素酸ソーダ・・・下水道やプールなどの殺菌、パルプ等の漂白に使用。
- 高度さらし粉・・・次亜塩素酸カルシウムを主成分とする水処理剤。プールや浄化槽等の消毒剤として使用。



▲ 原料塩



▲ 高度さらし粉

当社は「化学の革新を通して、幸せを実現し、社会に貢献する」を企業理念とし、社員全員が日々業務の中で実践すべき心構え・心得を「1. 挑戦する意欲、2. 冷たい状況認識、3. 熱い対応、4. 持続する意思、5. 協力と感謝」と掲げ、東北の優良化学会社の実現に向かって邁進しています。

制御機械科

会員の皆さまには何かとお世話になっております。昨年度（平成30年度）も就職率100%を維持することができました。これも皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。

今年度も昨年度同様、就職率100%を目指します。2月には卒業研究発表会が開催されました。企業の方々をはじめ多数の方々をお迎えし、2年生は日ごろ取り組んだ研究課題について発表しました。また、宮城県で実施された東北ポリテックビジョン機械系ものづくり競技会（旋盤競技）では2年中條優一君が敢闘賞を受賞しました。



今年度は1年生7名、2年生7名の体制でスタートしました。学生の適正と能力にあわせた指導を行うため2コース制の授業が平成27年度から始まり5年目となりました。機械技術者育成コースでは機械系の資格取得を目指しており昨年度は技能検定2級（普通旋盤、機械検査）に合格することができました。メカトロニクス技術者育成コースではメカトロ製品の設計から製作までの一連のものづくりの流れを学ぶことを目標としており、昨年度はFAラインやモーターカーなど総合的課題のものづくりができました。今年度はさらに内容を充実させたいと考えています。また、若年者ものづくり競技大会（旋盤競技 福岡県）、東北ポリテックビジョン機械系ものづくり競技会（旋盤競技 宮城県）などの大会への参加を予定しており、学生は入賞に向け練習に励んでいます。会員企業の皆さまには、これまで以上のご支援、ご指導よろしくお願いたします。

電子情報科

振興会会員企業の皆様には、日頃、様々なご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。平成30年度も多くの方が地元企業に内定をいただきました。

これもひとえに会員企業の皆様方のご支援の賜と感謝申し上げます。平成から令和へ、新たな時代が始まりました。ビッグデータ、AIなどICT技術もまさに新たな時代の幕開けを感じさせます。新時代にマッチングした“電子情報科”であるよう教員一同努めて参ります。

2年生は、実践コース3名と基礎コース7名の合計10名です。早期に就職希望者全員の内定が得られるように学生と教員が一体となって就職活動に取り組んでおります。5月末時点で、2名の学生が内定や内々定をいただいております。これからも全員が内定するまで活動してまいります。

また、昨年11月に、校外学習として「富士通テクノロジーホール」と「TEPIA 先端技術館」を見学しました。スーパーコンピュータをはじめとした様々な分野の先端技術を見学することで、電子情報業界の動向や最新のICT技術について理解を深めることができました。参加に当たり振興会より学生に助成をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。1年生は、実践コース5名と基礎コース8名の合計13名です。女子学生が5名おり、例年に増して華やかな雰囲気の中、各自、資格試験合格などの目標を掲げて、日々頑張っています。6月には、インターネットテクノロジーの国内最大級の展示会である「Interop Tokyo 2019」の見学を予定しており、振興会より学生に助成していただけることになりました。ありがとうございました。今後ともご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

国際経営科

国際経営科では、身に付けた実力を客観的に証明する手段として資格取得を積極的に奨励しており、授業において指導を精力的に行っております。また、協定に基づいて庄内地区の高校との教育連携にも取り組んでおります。ここでは、この1年間の資格試験の合格実績を紹介するとともに、酒田光陵高校との教育連携の現状についてご報告いたします。

資格試験の合格状況について

国際経営科では、これまでに日商簿記1級をはじめとする高度資格の合格者を輩出しておりますが、平成30年度も、引き続き多数の資格試験で合格実績を上げております。

簿記会計分野と経営分野では、昨年度に引き続いて日商簿記2級と秘書検定2級の合格者を輩出しております。近年は日商簿記2級の難易度が上がり、合格率(全国平均)が10%台まで低下する回が続いておりますが、今後も一人でも多くの合格者を輩出できるよう努力してまいります。

情報分野におきましては、平成30年度も学生が日商PCプロフェッショナルの認定を受けました。これで日商PCプロフェッショナルに関しましては平成27年度から4年連続で当科の学生が認定されたこととなります。

高校との教育連携について

平成28年度から酒田光陵高校ビジネス会計科に対して簿記教育の連携事業を行っております。国際経営科の教員が日商簿記1級対策と2級対策の2クラスについて、2日間の集中授業を年3回実施する形式で運営しております。平成30年度は新しい取り組みとして、日商簿記検定に実務的な問題が出題される傾向にあることに対応し、実際に上場企業(小売業)が作成した財務諸表を活用したワークショップを実施いたしました。

また、平成29年度からは酒田光陵高校普通科に対しても「総合学習」の時間を利用してSPI対策(就職試験)の出張講義・演習を実施しております。国際経営科の教員は、年間をとおして平日の授業時間帯に定期的に出張して講義・演習を行っております。酒田光陵高校普通科の生徒は、2年生の後期から3年生の前期までの1年間に渡って国際経営科の教員から6回のSPI非言語分野の講義・演習を受けております。

全学科企業実習

学生が企業社会の実情に触れ、職業人としての自覚と学習意識の向上を図るため、3学科の1年生全員を対象に11月から2月にかけて企業の皆様のご協力を得て、企業実習を実施しました。

実習先：株式会社グローバルマシーン

制御機械科2年 伊藤 雄矢

私は株式会社グローバルマシーン様で企業実習を行わせていただきました。実習では検査、加工、組み立ての作業を体験しました。特に、NC旋盤を使って銅の加工をしたことが印象に残っています。当時授業でも扱ったことがなく、初めて使用するNC旋盤での作業は難しさを感じました。また、加工した製品の検査、プログラムの打ち込みなどを行わせていただくことで、実際の現場での作業を知ることができ、新鮮な体験となりました。この実習で学んだことを就職活動や、実際に就職してからに生かしていきたいと思っております。株式会社グローバルマシーンの皆様、ありがとうございました。



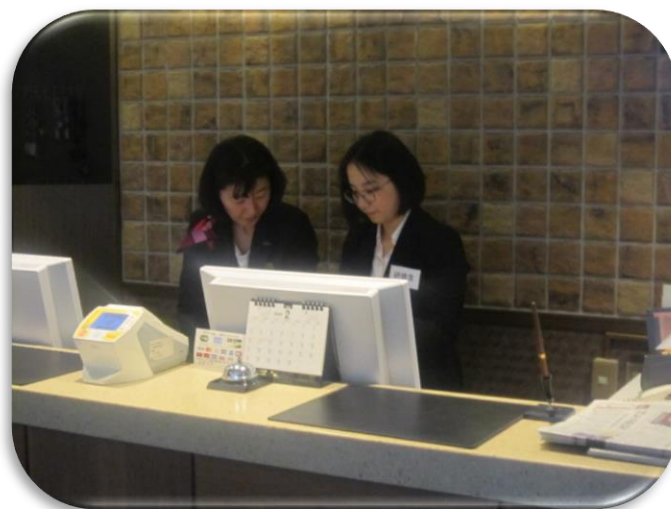
実習先：キューブワン情報株式会社
電子情報科 2年 門田 裕次郎

私は、キューブワン情報株式会社にて、コンピュータシステムに関する業務を体験させていただきました。パソコンの部品交換では不慣れながらも、傷をつけないように細心の注意を払いながら部品の交換作業をしました。また、データ管理についての業務では、迅速にかつ丁寧にデータ入力する技術を教えていただくとともに、依頼先に関する知識や技術の習得も必要だということを知ることができました。加えて、社会人として必要となるマナーや心構え、コミュニケーションの大切さを学ぶことができました。ご指導してくださったキューブワン情報株式会社の皆様、ありがとうございました。この経験を学生生活、社会人生活で活かしていきます。



実習先：株式会社月見（ホテルイン酒田）
国際経営科 2年 加藤 ゆり

私は、平成31年2月4日～8日の5日間、ホテルイン酒田で企業実習をさせていただきました。実習は、主にお客様への鍵・領収書渡し、ベットメイキング、雑務をさせていただきました。ベットメイキングを初めて15室体験し、大変でしたが体力と丁寧さが身につきました。また、鍵・領収書をお客様に渡すとき、笑顔で明るく渡すことが出来たのでよかったです。実習を通して、先のことを考えながら仕事をするのが難しいということを実感し、とても苦労しました。ご指導してくださったホテルイン酒田の皆様、本当にありがとうございました。



（紙面の都合上、受入れいただいた企業への感想等全てを掲載できなかったことをご容赦ください。）

平成31年度入学者数

	制御機械科	電子情報科	国際経営科	合計
男	6	8	1	15
女	1	5	5	11
合計	7	13	6	26

卒業研究発表会『テーマ』一覧 《平成30年度卒業生》

2月12日から14日までの3日間、本校の大講義室において平成30年度卒業生の卒業研究発表会を開催しました。2年間の集大成として取り組んだテーマの要旨を掲載していますが、詳細については、指導教員にお問合わせください。

平成31年2月13日（水）

学科名 制御機械科

番号	テ マ	要 旨	発表学生	指導教員
1	エコラン競技車両の製作	本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ全国大会出場に向けた車両を製作する。	奥泉 泰知 佐藤 葵 高橋 央修	津田 勇
2	「縄文の女神」の簡易金型製作	リバースエンジニアリングで得られた「縄文の女神」の3次元CADデータを使いCAM（コンピュータ支援製造）によりNCデータを生成し、アルミ合金製の簡易金型を製作する。	佐藤 武瑠 芳賀 直人	庄司 英明
3	日本工業規格(JIS)とISO規格との整合化にともなう問題点に関する考察	JISのISOとの整合化に伴う問題点について、締結要素であるねじ部品について取り上げ考察する。	渡部 篤	
4	タッチパネルを用いた制御システムの製作	プログラブルコントローラによるシーケンス制御装置を視覚化、集約管理などを可能にする表示器を使用した制御装置の製作を行う。	齋藤 永弥	
5	メカトロニクス装置の製作	プログラブルコントローラ(PLC)を用いて、メカトロニクス装置の製作を行う。	齋藤 卓磨	佐藤 義則
6	技能検定シーケンス制御作業2級マニュアルの改良	技能検定シーケンス制御作業2級を受験するにあたり、スムーズな知識習得と、多くの合格者を出すことを目的としたマニュアルの作成を行う。	西塔 樹	
7	バドミントン打ち出しロボットの製作	バドミントンの練習のためのロボットを製作する。マイコンを利用し、羽根を落とすタイミングを制御することで打ち分けを実現する。	日高 翔河	
8	Unityを用いた制御システムの開発	2D/3Dゲーム製作プラットフォームであるUnityを用いて、3Dグラフィックス表示機能を持つ制御システムを構築し、スカラ型ロボットを制御する。	渡部 陽介	新居 徹哉
9	人型二足歩行ロボットの製作	本校で習得した技術（マイコン制御技術・3D CAD・3Dプリンタ）を組み合わせ、二足歩行ロボットを自作する。	柿崎 雄輝	
10	全国製造業コマ大戦に向けたコマの製作	全国製造業コマ大戦に向けた競技用コマの設計、開発をする。また、コマ回し機の製作を行う。	小條 遥奈	
11	技能検定機械検査合格に向けた環境整備および教材開発	技能検定機械検査合格に向けて効率よく練習するために作業分解シートや流れ線図などのIE手法を用いて現場改善をする。また教材を開発する。	信田 聡	飛田 成浩
12	旋盤作業における標準時間算出のためのPTS法の開発	旋盤作業の作業分析を行い、標準時間を算出できるPTS法を開発する。	中條 優一	

平成31年2月14日（木）

学科名 電子情報科

番号	テ マ	要 旨	発表学生	指導教員
1	競技会の説明	電子情報科の学生が参加した「若年者ものづくり競技大会」および「技能五輪全国大会」などの競技会について説明する。	堀 猛	全 員
2	競技会参加報告 「若年者ものづくり競技大会」 職種：業務用ITソフトウェア・ソリューションズ	平成30年8月1日と2日に開催された第13回若年者ものづくり競技大会の業務用ITソフトウェア・ソリューションズ職種に参加した。本競技の参加報告を行う。	赤塚 智	岡崎 徹
3	競技会参加報告 「若年者ものづくり競技大会」 職種：電子回路組立て	平成30年8月1日と2日に開催された第13回若年者ものづくり競技大会の電子回路組立て職種に参加した。本競技の参加報告を行う。	長谷川春輔	吉田 明弘
4	競技会参加報告 「技能五輪全国大会」 職種：ITネットワークシステム管理	平成30年11月2日から4日に開催された第55回技能五輪全国大会のITネットワークシステム管理職種に参加した。本競技の参加報告を行う。	富樫菜々子	開沼 和広

5	電子情報科の今年度の卒業研究統一テーマ 「Smart IoT」	電子情報科の卒業研究では、プロジェクト型課題解決実習(PBL)を導入し、3つの学習分野に沿ったテーマを設定している。PBLの目的や取り組みの詳細および各テーマについての説明を行う。	伊藤 兼	全 員
6	会社名: Agr テーマ:IoT による枝豆のスマート農業管理システム	枝豆栽培に対して、育成環境をデータ化し管理することでスマート農業を実現する。 圃場に設置した観測ノードからのデータをWeb上で見ることができ、併せて掲示板機能によりユーザ間の情報共有を可能とするシステムを開発した。	相馬 健太 尾形 和輝 岡部 拓社 田村 凌也 船見 海方	芝田 浩 吉田 明弘
7	会社名: Linkup Technology テーマ: SDN システムの学内ネットワークへの導入	SDN (Software Defined Networking) とは、ネットワークを構成する通信機器などを、ソフトウェアで一括制御する技術を指す。ルータやファイアウォールなど複数の機器で構成されている学内ネットワークを、1つのSDNシステムに置き換える。これまでのPBLで制作したシステムを、3年目の集大成として学内ネットワークに導入した。	栗田 将孝 齋藤 哲平 富樫菜々子	開沼 和広 渡辺 雄二
8	会社名: Life Create Technology テーマ: 誰でも手軽に利用できる食品管理システム ～スマート冷蔵庫・ふりざくん～	冷蔵庫で多くの食品を保管しているユーザが増えており、結果、食品の管理が煩雑になり、賞味期限切れや保管食材の再度購入など起きやすい状況にある。既存の冷蔵庫にいつでもどこでも冷蔵庫の食品保管状況を確認でき、賞味期限が近づいた食品をユーザに通知する機能を付加するシステムを開発した。	赤塚 智 石川 裕翔 伊藤 兼 長谷川春輔 堀 猛	萬年 亨 岡崎 徹

平成31年2月12日(火)

学科名 国際経営科

番号	テ ー マ	要 旨	発表学生	指導教員
1	製造間接費の配賦のあり方に関する一考察	伝統的原価計算における製造間接費の配賦は現代においては実態を表してはならず、一方で1980年代に、より正確な原価計算方法として提唱された活動基準原価計算(ABC)は日本の企業では導入率が低い。そこで、あるべき配賦の形を考察するため各原価計算方法を比較検討する。	小松 佳司	鷹嘴 直也
2	財務分析に基づくドラッグストア各社の特性について	近年ドラッグストア業界は売上・店舗数ともに右肩上がりに成長を続けており、数少ない小売業の勝ち組といえる。本研究ではドラッグストア業界全体の特徴を把握したうえで、上場ドラッグストア12社の財務分析を行い、各社の特性について考察を行う。	佐藤 沙織	原田 文規
3	ゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」がもたらす社会現象についての一考察	2015年にPC版でリリースされた「刀剣乱舞-ONLINE-」というゲームが、アニメ化や舞台化、企業とのコラボレーションイベントなど、さまざまな社会現象を呼び起こしている。このゲームが、社会にどのような影響を与えているのか、ゲームに登場する刀のコラボ展示などを基に調査し、考察することを目的とする。	神保日向子	吉田 勝紀
4	農産物のブランド化戦略 ー 地域企業における自己完結型の生産・流通システムの考察 ー	わが国には、農産物を自社ブランドとして商品化し、自らが構築した生産・流通システムを通じて全国規模で事業を展開している地域企業が少ない。本研究は、地域企業のブランド戦略という視点から、農産物の企業ブランド化と自己完結型の生産・流通システムの構築可能性について考察を行う。	長南 諒	佐々木 健
5	キャッシュレス社会の現状に関する研究	キャッシュレスと呼ばれる現金を使わない決済が世界各地で普及している。キャッシュレスの先行研究は近年の論文に関するものは少なく、数年前のキャッシュレス状況が電子マネー、クレジットカードがほとんどである。本研究では、キャッシュレス社会の現状やキャッシュレスが普及することで今後の生活がどのように変わっていくのか考察していく。	鶴田羅美寅	佐藤 圭治

平成 30 年度 進路状況

項目 学科名	卒業者	就職 希望者	就職 内定者	地域別内訳						就職 内定率 (%)
				庄内 地区	村山 地区	最上 地区	置賜 地区	県内計	県外計	
制御機械科	15	15	15	12	1	0	0	13	2	100
電子情報科	13	13	13	11	0	0	0	11	2	100
国際経営科	5	5	5	2	0	0	2	4	1	100
計	33	33	33	25	1	0	2	28	5	100

就職先企業のご紹介（五十音順・敬称略）

制御機械科	電子情報科	国際経営科
I A T 株式会社	株式会社管理システム	余目町農業協同組合
旭マシナリー株式会社	キューブワン情報株式会社	協同組合庄内企業振興協会
阿部エンジニアリング株式会社	株式会社高研	ベイヒルズ税理士法人
オプテックス工業株式会社	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社	株式会社マツキ
株式会社桜本製作所	TDK庄内株式会社	株式会社米沢牛黄木
J F E スチール株式会社	ティービーアール株式会社	
スズモト株式会社	テクマン工業株式会社	
ティービーアール株式会社	日本電設工業株式会社	
東北イートップ株式会社	株式会社日情システムソリューションズ	
株式会社トガシ技研	フジテック株式会社	
パイプ・ラインエンジニアリング株式会社	株式会社プレスステージ・インターナショナル	
松岡株式会社		
株式会社ヨロズエンジニアリング		
株式会社渡会電気土木		

受賞に輝く卒業生

庄内校の平成 30 年度卒業式が 3 月 14 日に行われ、卒業研究や 2 年間の学業成績が特に優秀だった学生、学習へ取り組む姿勢や日常活動が他の模範となった学生が表彰されました。

山形県知事賞	電子情報科	富樫 菜々子
学校長賞	制御機械科	中條 優一
	国際経営科	小松 佳司
教育振興会長賞	制御機械科	奥泉 泰知
	電子情報科	赤塚 智
	電子情報科	長谷川 春輔
	国際経営科	佐藤 沙織



写真：後列（左から）赤塚智君、長谷川春輔君、佐藤沙織さん
 前列（左から）奥泉泰知君、小松佳司君
 （尾形校長）富樫菜々子さん、中條優一君

令和2年度学生募集

1 募集科・募集定員

制御機械科	20名
電子情報科	20名
情報技術者育成実践コース（実践コース）	
情報技術者育成基礎コース（基礎コース）	
国際経営科	20名

2 入学試験日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
推薦入学試験	10月15日(火) ～	11月2日(土)	11月7日(木)	11月11日(月) ～
社会人特別入試（第1期）	10月28日(月)			11月25日(月)
一般入学試験 （前期）	11月18日(月) ～	12月7日(土)	12月12日(木)	12月16日(月) ～
社会人特別入試（第2期）	12月2日(月)			1月6日(月)
一般入学試験 （中期）	12月23日(月) ～	1月25日(土)	1月30日(木)	2月3日(月) ～
社会人特別入試（第3期）	1月20日(月)			2月17日(月)
一般入学試験 （後期）	3月9日(月) ～	3月25日(水)	3月27日(金)	3月27日(金) ～
社会人特別入試（第4期）	3月23日(月) ※1			3月31日(火) ※2

※1 出願期間は、3月23日(月)12時まで
 ※2 入学手続期間は、3月31日(火)12時まで

3 募集区分

		制御機械科	電子情報科		国際経営科
			実践コース	基礎コース	
推薦 入学試験	一般推薦	●	●	●	●
	指定校推薦	●	●		●
一般 入学試験	前期	●	●	●	●
	中期	●	●	●	●
	後期	●	●	●	●
社会人特別入学試験		●			●

4 試験科目（全ての入学試験に面接試験有）

		制御機械科	電子情報科		国際経営科
			実践コース	基礎コース	
推薦 入学試験	一般推薦	数学Ⅰ ※1	数学Ⅰ ※2	数学Ⅰ ※2	小論文
	指定校推薦	面接のみ	面接のみ		小論文
一般 入学試験	前期	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	選択科目・小論文 ※3
	中期	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	選択科目・小論文 ※3
	後期	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	小論文
社会人特別入学試験		数学Ⅰ			面接のみ

※1 技能検定（3級以上）合格者は、数学Ⅰの試験免除有
 ※2 ITパスポート試験合格者は、数学Ⅰの試験免除有
 ※3 選択科目は①簿記・会計、②国語総合（古文、漢文を除く）・現代文Bのいずれか1科目選択
 また、日商簿記（3級以上）等合格者等は、選択科目試験免除有

事務局



副校長（兼）事務局長 松田 茂

今年4月より副校長兼事務局長で着任しました松田茂と申します。出身は酒田市です。教職員のみなさんと協力し、在学生在が充実したスクールライフを過ごされ、また夢の実現に少しでも役立つように支援するとともに、少子化が叫ばれる昨今、少しでも庄内校の魅力を社会に発信し、入学者が増えるように努力したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



教務学生主幹（兼）教務学生課長 橋本 慎二

この4月に庄内総合支庁建設総務課から赴任しました。庄内校は、これまで地元産業界に多くの人材を輩出していると聞いております。微力ではございますが、教育振興会の会員の皆様のお力添えをいただきながら、入学生の受入れや学生の円滑な就職活動を支えていきたいと思っております。



庶務係長 大沼 佳

4月より総務課でお世話になっております。仕事は庶務を担当しています。県立高校に勤務していた頃を思い出しながら、異なる部分も楽しみながら、学生の皆さん、教職員の皆さんのお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



自動車運転手及び業務員 五十嵐 文雄

4月から本校にお世話になっております。運転手としては、時間と気持ちに余裕を持って安全運転に心がけたいと思っております。業務員としては皆さんが快適に学校生活を送れるように環境整備に努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

教員



准教授（電子情報科） 工藤 智子

4月に電子情報科に着任いたしました工藤と申します。庄内町の出身で、以前庄内校に勤務しておりましたが、その後山形市にある本校に勤務、十数年ぶりに庄内校に戻ってまいりました。

ネットワークに関する研究や、ネットワークシステム構築・管理から、近年は、商用のクラウドサービスを利用した生産管理システムの構築も手掛けております。また、プログラミングや情報セキュリティの授業を担当しております。

様々な面から地域のお役に立てるよう努めていきたいと考えております。今後とも教育振興会会員の皆様のご助言をよろしくお願い申し上げます。

編集発行

山形県立産業技術短期大学校庄内校教育振興会
〒998-0102
山形県酒田市京田三丁目57番4号
TEL0234-31-2300・FAX0234-31-2770

編集後記

平成30年8月7日開催の「企業懇談会」では、当校のあり方について貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。当校の魅力を多くの方々に知っていただくため、情報発信に努めて参りますので、今後とも会員の皆様の御支援をお願いいたします。